

令和元年度

決算の概要

市民の皆さんが納めた税金が、どのように使われ、また、市の財政がどのような状況にあるのか、令和元年度の本市の決算をお知らせします。

決算の概要は、市ホームページ「市政情報」→「予算・決算」にも掲載していますので、ご覧ください。

※各表内の数値は、区分ごとに表示単位を四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります

☎ 財政課 94-4862

1. 決算状況

(1) 全会計(一般会計、特別会計および公営企業会計)歳入歳出(収入支出)決算総括表

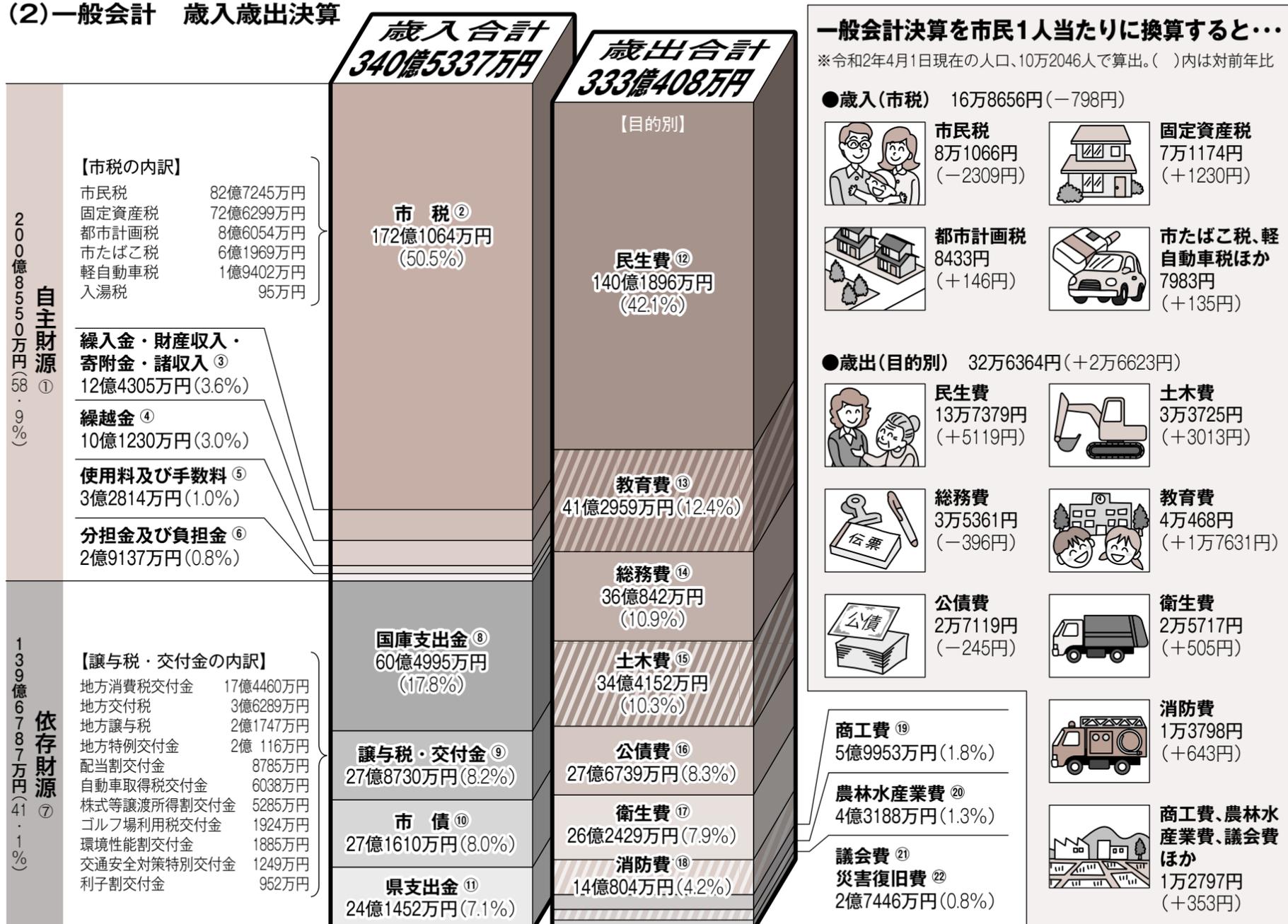
本市の会計は、一般的な行政事務事業を行う一般会計、国民健康保険や介護保険など4つの特別会計および下水道の公営企業会計で構成されています。各会計の歳入歳出決算額は、右表のとおりです。

一般会計の決算は、前年度と比較して、歳入は7.6%の増加となりました。主な要因は、小・中学校の空調設備などのために市債の新規借り入れを行ったことによるものです。また、歳出は8.7%の増加となりました。主な要因は、小・中学校のトイレ改修や空調設備の整備、総合運動公園再生修復整備工事など、普通建設事業費の増加によるものです。

会計名	歳入		歳出		歳入歳出差引 残額(A-B)
	決算額(A)	対前年比	決算額(B)	対前年比	
一般会計	340億5337万円	+7.6%	333億408万円	+8.7%	7億4929万円
うち市税	172億1064万円	-0.7%	—	—	—
特別会計*2	186億7598万円	-1.7%	184億2027万円	-0.1%	2億5571万円
国民健康保険事業	101億505万円	-5.8%	99億6472万円	-5.0%	1億4033万円
用地取得事業	2833万円	+4614.3%	2833万円	+4614.3%	0円
介護保険事業	72億5597万円	+3.0%	71億4674万円	+6.4%	1億923万円
後期高齢者医療事業	12億8663万円	+4.4%	12億8048万円	+4.2%	615万円
③ 公共下水道事業*1	56億1809万円	—	61億775万円	—	-4億8966万円
合計*2	527億2935万円	+4.1%	517億2435万円	+5.4%	10億500万円

③…公営企業会計 *1…下水道事業は令和元年度より特別会計から公営企業会計に移行しました(歳入は収入、歳出は支出となります) *2…特別会計と合計の決算額・対前年比は、下水道事業(平成30年度)を除いた金額で算出しています

(2) 一般会計 歳入歳出決算



用語解説

【歳入】①自主財源…市が自ら収入できる財源 ②市税…市に納められる税金 ③繰入金・財産収入・寄附金・諸収入…基金から引き出した収入、市の財産を売却して得た収入、寄附金など ④繰越金…前年度から繰り越したお金 ⑤使用料及び手数料…公共施設の使用料など ⑥分担金及び負担金…保育料など、特定の利益を受ける人が負担したお金 ⑦依存財源…国・県が定めた基準により交付される支出金や市が借り入れる財源 ⑧国庫支出金…国からの補助金など ⑨譲与税・交付金…国税などから市に交付されるお金 ⑩市債…市の借入金 ⑪県支出金…県からの補助金など 【歳出】⑫民生費…児童や障がい者、高齢者などの福祉のための経費 ⑬教育費…小・中学校や生涯学習、スポーツなどのための経費 ⑭総務費…住民登録、交通安全対策、選挙などのための経費 ⑮土木費…道路や河川、公園などの整備・維持補修のための経費 ⑯公債費…市債の返済のための経費 ⑰衛生費…ごみ処理や環境対策、健康管理のための経費 ⑱消防費…消防、救急、防災のための経費 ⑲商工費…商業、工業、観光の振興のための経費 ⑳農林水産業費…農業、林業の振興のための経費 ㉑議会費…市議会を運営するための経費 ㉒災害復旧費…災害の被害対応のための経費

※抜き取ってご覧ください